

みたけ

2011.11.1
No.103
議会だより



みたけ幼稚園運動会

主な内容

- ◆第3回定例会 2ページ
- ◆平成22年度決算報告 4ページ
- ◆そこが知りたい～ 一般質問～ 5ページ

平成23年 第3回定例会

平成22年度各会計決算認定 一般会計・特別会計補正予算可決

平成23年第3回定例会は平成23年9月1日に開会し、9月16日までの16日間を会期として開催しました。

提出案件は、教育委員会委員の任命同意、平成22年度の決算認定、平成23年度一般会計・特別会計補正予算、条例の一部改正など20件が上程され、それぞれ原案のとおり可決しました。

一般質問には町政の諸問題について4名の議員が登壇しました。

認 定

1	平成22年度御嵩町一般会計歳入歳出決算認定について	賛成全員で可決
2	平成22年度御嵩町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成全員で可決
3	平成22年度御嵩町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	賛成全員で可決
4	平成22年度御嵩町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛成全員で可決
5	平成22年度御嵩町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成全員で可決
6	平成22年度御嵩町下水道特別会計歳入歳出決算認定について	賛成全員で可決
7	平成22年度御嵩町水道事業会計歳入歳出決算認定について	賛成全員で可決

平成23年度 補正予算

1	平成23年度御嵩町一般会計補正予算(第2号)について	地方交付税等の額の確定、人事異動に伴う補正、特定鉱害復旧事業費の精査等に伴う補正、社会資本整備総合交付金の額の確定に伴う補正	賛成全員で可決
2	平成23年度御嵩町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	本算定に伴う保険税の確定、交付金等の確定に伴う補正	賛成全員で可決
3	平成23年度御嵩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	前年度繰越金の確定に伴う補正	賛成全員で可決
4	平成23年度御嵩町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	前年度一般会計からの繰入金の確定、交付金等の確定に伴う補正	賛成全員で可決
5	平成23年度御嵩町下水道特別会計補正予算(第2号)について	消費税の確定、工事費の増額に伴う補正	賛成全員で可決
6	平成23年度御嵩町水道事業会計補正予算(第1号)について	人事異動に伴う人件費の減額等による補正	賛成全員で可決

平成 23 度 補正予算のあらまし

（単位：千円）

	会 計 名	補正前予算	補正額	補正後予算
1	一般会計補正予算（第2号）	6,397,780	248,604	6,646,384
2	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	1,964,000	18,265	1,982,265
3	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	165,000	6,468	171,468
4	介護保険特別会計補正予算（第1号）保険事業勘定	1,225,000	13,366	1,238,366
	介護保険特別会計補正予算（第1号）介護サービス事業勘定	4,300	187	4,487
5	下水道特別会計補正予算（第2号）	775,295	26,355	801,650
6	水道事業会計補正予算（第1号）	665,000	△4,192	660,808

条 例

1	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	災害弔慰金を支給する遺族の範囲を兄弟姉妹まで条件つきで拡大するもの	賛成全員で可決
---	----------------------------------	-----------------------------------	---------

その他の議案

※ 1～3の関連 10ページ

1	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	任期満了に伴う教育委員会委員の任命	賛成全員で可決
2	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	任期満了に伴う教育委員会委員の任命	賛成全員で可決
3	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	辞任に伴う教育委員会委員の任命	賛成全員で可決
4	工事請負契約の締結について	御嵩町中地内（都市計画道路）大泥茶円原線道路改良工事	賛成全員で可決

諸般の報告（議長報告）

1	「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書提出に関する陳情
2	拡大生産者責任（EPR）及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について
3	介護職員処遇改善交付金制度の改善と継続を求める陳情
4	現金出納検査結果報告（平成23年6月分から平成23年7月分）

発 議

※（関連 10ページ）

1	名鉄広見線対策特別委員会の設置について
2	亜炭廃坑対策特別委員会の設置について

平成22年度 決算報告

平成22年度 一般会計・特別会計決算総括表

（単位：円）

会 計	区 分	歳入合計	歳出合計	差引額
一般会計		7,134,419,179	6,935,232,344	199,186,835
特別会計		4,421,330,986	4,289,525,267	131,805,719
内 訳	国民健康保険特別会計	2,192,788,477	2,132,207,254	60,581,223
	老人保健特別会計	11,579,302	1,017,028	10,562,274
	後期高齢者医療特別会計	168,001,789	158,028,922	9,972,867
	介護保険特別会計（保険事業勘定）	1,222,732,163	1,218,183,767	4,548,396
	介護保険特別会計（サービス事業勘定）	4,022,230	3,826,350	195,880
	下水道特別会計	822,207,025	776,261,946	45,945,079
合 計		11,555,750,165	11,224,757,611	330,992,554

平成22年度 水道事業会計決算表

（単位：円、消費税等込み）

区 分	収入合計	支出合計	差引額
収益的収支	472,274,014	440,933,110	31,340,904
資本的収支	29,125,461	154,293,164	△ 125,167,703

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 125,167,703 円は、過年度損益勘定留保資金 47,492,942 円及び減債積立金 77,674,761 円で補てんしました。

健全化判断比率及び資金不足比率一覧表

（単位：％）

平成 19 年度から施行された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成 22 年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率が報告されました。内容は次の表のとおりです。御嵩町はいずれの指標も法律の定める財政再生基準、早期健全化基準を下回っています。

比率区分	内 容	御嵩町	早期健全化基準 （イエローカード）	財政再生基準 （レッドカード）
実質赤字比率	一般会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	－	15.00	20.00
連結実質赤字比率	一般会計のみならず特別会計、企業会計を含む全ての会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	－	20.00	40.00
実質公債費比率	一般会計などが負担する公債費（借金の返済額）が標準財政規模に占める割合	13.4	25.00	35.00
将来負担比率	一般会計などが将来負担すべき債務（借金残高など）が標準財政規模に占める割合	87.8	350.00	
公営企業における 資金不足比率	資金不足額が事業規模に占める割合	水道事業会計 －	20.00	
		下水道特別会計 －		

（※）標準財政規模とは、地方公共団体が自由に使える財源の標準的な規模を表します。
平成 22 年度御嵩町の標準財政規模は、4,453,109 千円です。

平成23年 第3回定例会

そこが知りたい

一般質問は9月7日に行われ、4人の議員が活発な質問をしました。

1 山田 儀雄 議員 ……6 ページ

- 無水道地域対策事業について

2 高山 由行 議員 ……7 ページ

- 御嶽宿再生について
- 「わいわい館」「さんさん広場」の1年間の総括について
- ふるさとみたけ応援寄附金等の啓発について

3 岡本 隆子 議員 ……8 ページ

- 地域公共交通とデマンド交通システムについて
- 災害廃棄物の広域処理について
- 柳川元町長襲撃事件について

4 大沢まり子 議員 ……9 ページ

- 認知症予防への一案
- 任意予防接種費助成について
- 学校の防災機能について
- 被災者支援システム

あなたも議会を傍聴しませんか

議会では、町民の皆様の暮らしに密着した重要な問題が審議されます。

所定の受付簿に住所、氏名等を記入し、傍聴券の交付を受けることにより、町議会を傍聴することができます。お気軽にお越しください。

くわしくは、議会事務局までお問い合わせください。

☎ 67-2111（内線 2252）

文責についてお知らせ

一般質問の「問・答」は、質問議員本人の文責です。一般質問のページに掲載した内容については、議員に直接連絡がつかない場合は、ご質問の内容、お名前、連絡先（住所、電話番号等）を添えて、議会事務局まで書面にてお届けくだされば、各議員に連絡いたします。

インターネットで議会の情報が閲覧できます

議会だより、議会の議事録等がインターネットで閲覧できます。（なお、議事録は、作成・確認作業の為、掲載まで若干の期間を要します。）

御嵩町ホームページのトップ画面の下の方にあるサービスガイドの広報の欄にある「議会情報」をクリックしてください。

www.town.mitake.gifu.jp/index.cfm



無水道地域対策事業について



山田 儀雄

問 事業推進に伴う給水工事費（分担金）について

無水道地域の解消については、平成7年に地元地域（謡坂・小原・西洞・谷・綱木・大久後）において「無水道地域対策委員会」が立ち上げられた活動を開始されました。

その後、町では平成10年に「無水道地域対策基金条例」を制定し、無水道地域の解消に向けた事業の推進を図るために基金を積み立ててきた経過がありますし、議会では無水道対策

特別委員会を設置され、無水道地域の解消に向けた協議がなされてきました。

地域で活動が開始されて15年が経過した昨年第三回定例会において条例改正が可決され、今年の2月には事業認可が取得でき、今年度から事業実施となりました。

また、その間には対象地域の全世帯から平成15年と平成20年の二回にわたり要望書が提出されています。内容はいずれも上水道が整備された場合の加入と給水工事費百万円を確約するものであります

が、見直しを求める声が多いのも事実であります。その理由については、町長のマニフェストにありま

した「水道料金の10%減額」が実施されていますが、この地域のの方々にはこうし

た恩恵が受けられないことや、事業費総額が平成15年の概算十二億円から現在では九億八千万円と下がってきていること、これも入札の結果によつてはまだまだ下が

つてくることが考えられますし、地元から要望のある給水工事も同じであります。地域の方々は今まで「水の確保」の井戸の新設ボーリングなど多額な経費を既にかけられて対応されてきています。以上の

ことから各世帯にかかる給水工事分担金について町長のお考えを伺いたい。

答 〔町長〕

水道料金の減額と無水道整備については、町全域での合意

形成が必要と考えています。無水道地域にはこれまで基金を一千万円積み立ててきました。無水道整備の前に「県下一高い水道料金」の減額を行うことをマニフェストに掲げ実施したものでありますが、これも合意形成のひとつであります。

次に百万円についてであります。根拠を持たない数字であります。現在この数字は生きています。今後、詳細設計を

実施すれば金額も出てきますし、入札によつて、事業費総額を圧縮できることは計算済みの数字であります。

百万円の減額については柔軟に対応したいと考えています。仮に減額した場合には、一般財源の持ち出しなど、財政シミュレーションに影響してまいりますので、議会の中でも十分な議論をしていただきたいと思います。

平成24年度から目に見える形での事業実施となり、残された時間も少ない中、地域でのまとまりも必要でありますので、地域での協議もしていただきたいと思います。

御嶽宿駅前施設の総括と今後の取り組み



高山 由行

問

「わいわい館」さんさん広場の1年間の総括について

平成22年度完成の駅前施設「わいわい館」「さんさん館」について以下の3点を伺います。

- ①1年間の利用者数
- ②1年間の維持管理費（人件費含めて）
- ③施設、イベント等の問題点・反省点と今後の対策。

答

【総務部長】

「わいわい館」

- ①43団体、2505人。
- ②一般財源3百19万円。
- ③交流棟の利用者が

- 少ない点を反省し、積極的にPRしていただける団体に施設全体を使うイベントの企画をしていただき、利用者の増加を図っていききたい。

問

御嶽宿再生につ

- ③電源、水回りの不便さを反省して、利便性向上について検討していききたい。

いて

1期目同様、2期目の渡辺町政において、予算手当を含め計画的に継続的にそして積極的に取り組んでいかれるのか。

答

【町長】

御嶽宿・伏見宿の再生は、第4次総合計画に沿ったものであり、5年経過したところという事で道半ばである。今後も同様に再生を図っていききたい。

わいわい館においては、交流棟で次なる活性化策が議論される場所であることが理想。今後、より門戸を開き充実した施設にしていききたい。

さんさん広場においては、再生エネルギーのシンボリック施設の活用であるから、更なる充実を皆さんにも期待する所も多くある。

健康館においては介護予防の施設として、町内外で高い評価を受けている。

今後、町内に既設の建物でよいので、同じ様な施設を設置していききたい。

御嶽宿・伏見宿の景観等の整備については、官民協働で今後も財政的な課題も克服しつつ、しっかりと対応していく。

ふるさと納税の利用開始から3年経過したが、今までの様に啓発につとめてき

答

【総務部長】

町のホームページ、リーフレット、町広報紙で啓発につとめてきた。

今後は、記念品の種類を増やす事、リーフレットの内容の更新を検討していく。

答

【町長】

御嵩町に愛情を持っている方々にトクプセールスをしていく。

東濃高校の同窓会の方々との様な協力関係が構築できるのか具体的に考えて啓発につとめていく。

ふるさと納税の利用開始から3年経過したが、今までの様に啓発につとめてき

「地域住民の足」の確保について



岡本 隆子

問

地域公共交通と

デマンド交通について

交通は日常生活に

なくてはならない

豊かな生活を育む手

段であり、安心・安

全な社会の大きな役

割を果たすものであ

る。今後名鉄電車だ

けでなく、総合的な

交通施策の展開が必

要であると考ええる。

①交通基本条例につ

いてはどのように考

えるか。

②デマンド交通につい

てはどのように取り

組んでいくのか。

③公共交通について若

い人々も含めた地域

の声を聞き、議論の

輪をどのように広げ

ていくか。

④町長が「東濃高校

の活性化こそが広見線対策」と言われたが東濃高校に対してどのような行動を起こしていくか。

答

【企画調整担当参事】

①「交通基本条例」

については国・県の動

向を踏まえつつ、条

例に何を盛り込むか、

実効性をどう確保す

るか等検討し、その

必要性の有無について

適切な時期に判断すべ

きものと考えている。

②「デマンドバス」の

導入を考えており、

公募委員や有識者を

交え、早期導入に向

けて取り組んでいく。

③楽しみながらその

意義を理解し、利用

して頂けるよう、映

画鑑賞会とセットす

るなどの催事の実施を検討する。

④ロボットコンテスト

で全国大会に出場す

るなどの頑張りもあ

る。そうした部活の支

援やPRも含め、町、

高校の実務者協議の

場を持ち、魅力ある

学校づくりに地域とし

て貢献していく。

問

災害廃棄物の広

域処理について

今回の震災で出た

がれきは、岩手・宮

城・福島3県で計約

22000トンであると

環境省は推計してい

る。その処理につい

て4月に全国の市町村

に受け入れを呼び掛

け、可茂衛生施設組

合がその処理に手を

挙げていると報道さ

れていた。

①受け入れを表明して

いることについてどの

ように考えているか。

②町及び近隣の安全確保のためにどのよ

うな方針で臨むか。

答

【町長】

本年4月8日環境

省の調査に答えたも

ので、この件には大

きなタイムラグがあ

ります。

9月5日可見市議

会教育部長の答弁は

「物理的に処理可能

な量をその時点で答

えたもので、受け入

れを表明したもので

はない。以降、組合

または、市に対して

も具体的な要望や問

い合わせはない。プラ

ントメーカーによる

と、さきゆりの施設・

設備は放射能に対応

できる施設ではない。」

と答えている。震災

から6カ月が経過し

た現在、軽々に判断

できる状況にない。

問

柳川元御嵩町長襲撃事件について

柳川元御嵩町長が

襲撃されてから15年

が過ぎようとしてお

り時効が迫っている。

この事件は古田知事

により公務災害の認

定を受けている。

①町として何か対応

を考えているか。時

効までの捜査を県警

に働きかける、氏の

功労の顕彰など考え

ているか。

答

【町長】

①御嵩町として主た

る位置付けでの対応

は考えていない。住

民がその気になってポ

トムアップでやること

が本来の姿と思ってい

る。柳川氏は退任時

に叙勲等栄典を辞退

すると申し入れをし

ておられるので、考

えていない。

子宮頸がんワクチンなど無料接種の継続を求む



大沢まり子

問 高齢者に対し聴

覚検査を実施し、認知症予防の充実をはかっていただけはないか

答 【民生部長】

近年、難聴を有する成人は、そうでない成人と比べて、認知症リスクが高く、難聴である度合いが重度であるほどそのリスクも高くなるということが新しい研究で示唆されている。

これらの研究がさらに進み、その因果関係が明らかになる状況を踏まえ、今後の課題として検討を重ねてまいりたい。

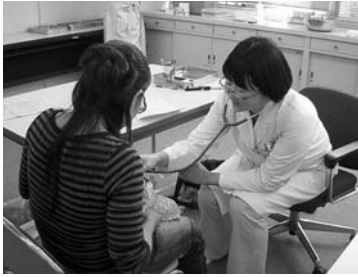
問 任意予防接種の

全額助成の継続を求む

本年2月より実施している子宮頸ガンワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンの全額無料接種は、

国の助成が24年以降は継続か廃止かわからない状態であるが、

たとえ、町単独事業となつても24年以降も継続して実施していただけないか。



答

【民生部長】

御高町では、町長

方針として、平成24年度以降も継続して事業を実施していくこととしている。

この事業に重要なことは、接種率を向上させること。更なる周知徹底を図っていききたい。

問 学校施設の防災機能について伺う

①学校施設の防災機能について全国的な調査が行われたが御高町の実態はどうか。

②防災機能の向上の必要性についての見解と今後の取り組みは。
③防災担当部局と学校との連携はできているのか。

答 【総務部長】

①町内の小中学校すべてが避難所に指定されているが、実態は、体育館と屋外に

トイレは有り。

学校敷地内に防災倉庫、備蓄倉庫は無し。貯水槽、井戸、浄水 装置は、無し。自家発電装置は無し。非常時の通信装置は災害時優先電話が1回線有り。

学校施設の避難所機能を考慮した災害マニュアルは無し。

②調査の結果、避難所としては十分とはいえない。

今後、ハード面では、発電、蓄電、貯水設備を段階的に導入し、「自立型避難所」を目指したい。ソフト面では、学校側と防災担当部局で協議していききたい。

③今はできていない。

避難所開設時の職員との連携について早急に教職員と防災担当部局で協議し対応

できる体制を作っていく

問 「被災者支援システム」の導入を求む

7月13日の県の説明を聞いたうえでの見解は。

答 【総務部長】

「被災者支援システム」は、WEBシステムとしてリニューアルされ無償で公開提供されている。

岐阜県行政情報センターが、この8月末までに県下の市町村に導入の意向調査を行った。

本町は「導入の意向」と回答した。

県下では、14市町村が導入している。今回の調査でさらに本町を含めた十数市町が新たに導入するものと思われる。

特別委員会構成

名鉄広見線対策特別委員会（定数5人）

（委員長） 加藤 保郎 （副委員長） 山口 政治

（委員） 佐谷 時繁 大沢 まり子 安藤 雅子

【目的】 名鉄広見線存続・法定協議会・名鉄広見線に係る公共交通に関する事項を調査・研究

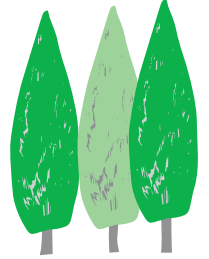
亜炭廃坑対策特別委員会（定数6人）

（委員長） 植松 康祐 （副委員長） 岡本 隆子

（委員） 伊崎 公介 山田 儀雄 柳生 千明 高山 由行

【目的】 事前の予防措置、国・県への法的な整備に関する事項を調査・研究

※特別委員会とは 特定の案件に対して、調査・研究のため設置される委員会



御嵩町教育委員会委員

御嵩町教育委員の任期満了に伴い、細野政成氏、笹谷裕美子氏の再任、及び安藤雅子氏の辞任に伴い、新たに後藤香代里氏が就任することについて議員全員の同意により、10月1日付けで町長から任命されました。



（再任 2期目）

細野 政成 氏を選任

任期は平成27年9月30日まで

住所 御嵩町伏見



（再任 3期目）

笹谷 裕美子 氏を選任

任期は平成27年9月30日まで

住所 御嵩町上之郷



（新任 1期目）

後藤 香代里 氏を選任

任期は平成24年9月30日まで

住所 御嵩町中



防災会議

災害が起こったとき、議員がどのような行動をとるのかを9月4日に議員全員で協議し、初動（警報発令及び町災害対策本部設置時）、初期（議会本部設置後住民避難など緊急活動中）、中期（緊急の対応から応急活動移行後）、後期（危険時を脱し、警報解除後）とに分けて行動できるよう災害時議員行動マニュアルを作成しました。



防災会議の様子

特定鉱害復旧事業 西之野・雨田地区充填工事視察

平成22年10月20日に顔戸・比衣地内で発生した現場で、被災箇所への復旧工事を平成23年9月1日（木）に議員全員で視察しました。

□ 復旧工事では、一般的に陥没や沈下部分を表面的に埋め戻す工法がとられますが、今回は地下充填工法がとられました。

地下充填工法とは、地下の空洞内に固まりやすい充填材を注入・固化させて地盤の安定化をはかり、空洞が原因で発生する陥没や沈下等の災害の根源を断つ有効な対策です。



充填工事説明



充填工事現場

議会日誌

【23年8月～10月】

8月

- 3日 議長、副議長就任あいさつ
- 4日 議長、副議長就任あいさつ
- 8日 岐阜県副知事要望
- 10日 議員研修会
- 11日 郡町村議会議長会長会
- 12日 議会報編集委員会

10月

- 7日 第3回定例会（一般質問）
- 13日 民生文教常任委員会
- 14日 総務建設産業常任委員会
- 16日 第3回定例会（最終日）
- 22日 議員研修会
- 28日 議会報編集委員会

9月

- 1日 第3回定例会（初日）
- 西之野・雨田地区充填工事視察
- 31日 議会報編集委員会
- 30日 議会運営委員会
- 26日 全員協議会
- 25日 総務建設産業常任委員会協議会
- 24日 民生文教常任委員会協議会
- 23日 教育委員会表彰会
- 22日 議会運営委員会
- 20日 行政懇談会
- 19日 青少年健全育成町民大会
- 18日 四線促進期成同盟会総会
- 16日 議員研修会
- 12日 議会報編集委員会
- 11日 議会報編集委員会
- 10日 郡町村議会議長会長会
- 8日 議員研修会
- 7日 第3回定例会（一般質問）
- 13日 民生文教常任委員会
- 14日 総務建設産業常任委員会
- 16日 第3回定例会（最終日）
- 22日 議員研修会
- 28日 議会報編集委員会
- 27日 議会報編集委員会
- 26日 文化協会発表会
- 24日 中濃地域農業共済事務組合議会臨時会
- 22日 全員協議会
- 21日 名鉄広見線対策特別委員会
- 19日 伏見地区町民大運動会
- 18日 議会報編集委員会
- 17日 岐阜県町村議会議長会
- 15日 定期総会及び町村議会
- 14日 正副議長研修会
- 13日 可児地区地域安全大会
- 12日 議員全員視察研修（宮城県七ヶ浜町）
- 11日 共和中学校組合議会
- 10日 郡町村議会議長会長会
- 9日 亜炭廃坑対策特別委員会

岐阜県副知事要望

（仮称）伊岐津志トンネル第Ⅱ期工事の早期発注を要望

平成23年8月8日に御嵩町議会は、渡邊町長、八百津町議会、赤塚八百津町長、加藤県議、小原県議、村上県議とともに、渚上副知事に主要地方道 多治見白川線の（仮称）伊岐津志トンネル第Ⅱ期工事の早期発注を強く要望しました。

要望書の内容は、以下のとおりです。

要 望 書

平素は、県政極めてご繁忙の中、八百津町・御嵩町の行政推進に対し、格別のご高配を賜り、心から厚くお礼を申し上げます

さて、主要地方道多治見白川線（東海環状自動車道アクセス道路）の改良工事につきましては、県当局の格別のご配慮を賜り、順調に進んでいますことを先ずもって厚くお礼申し上げます。

このアクセス道路は、国道21号と国道41号を町道伊岐津志・野上線及び国道418号を經由して最短で結ぶバイパス道路であり、可児市・美濃加茂市への通過交通の減少が見込まれ分散効果が大いに期待でき、両市の渋滞解消に大きく寄与するものであります。

また、東海環状自動車道東回りルートの開通により、可児・御嵩インターへの交通量は大幅に増加してまいりました。八百津町の人道の丘公園・工業団地、御嵩町のグリーンテクノみたけ、両町にまたがる新丸山ダム建設工事関係等、可児・御嵩インターを利用して両町を訪れる方も増加し、今後一層の交通量増加が予想されます。

現在、発注されている（仮称）伊岐津志トンネル第Ⅰ期工事は、実質的には今年中に工事完了となると伺っております。費用対効果が問われている昨今においてトンネル道路は、開通してこそ、その効果を最大限に発揮するものであります。

財政事情誠に厳しい折りではありますが、アクセス道路の早期完成は、両町の将来の命運を握る鍵としては是非お汲み取り願ひ、さらなる建設促進となる（仮称）伊岐津志トンネルの第Ⅱ期工事早期発注にご理解とご高配を賜りますよう、ここに要望するものであります。

平成23年 8月 8日



岐阜県副知事 渚上俊則 様

御嵩町議会議長 谷口 鈴 男
 御嵩町長 渡邊 公 夫
 八百津町長 赤塚 信 吾
 八百津町議会議長 柘植 伴 美

編 集 後 記

9月20・21日の豪雨・台風で被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

早期復旧がなされるよう、微力ながら努めてまいります。

次回の議会だよりから一般質問の答は、答弁者が書く形式になりました。ことをご報告いたします。解り易い議会だよりを今後も作成したいと思っております。

（Y・M）



※議会報編集委員会のようす